

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	男 80代	肝細胞癌 [ StageIII ] (アルコール 性肝障害, 肺 癌 [ Stage II ] )	80mg 1日間	<b>肝膿瘍(多発)</b>	
				既往歴: 大腸癌 投与約7ヵ月前及び3ヵ月前に本剤100mgを含むTACE(肝動脈化学塞 栓療法)施行。2回目のTACE施行時にエタノール10mL注入。	
				投与開始日	多発肝細胞癌に対し, 本剤80mg投与(TACE施行)。 セフォチアム塩酸塩 1g 投与。
				投与1日後	セフォチアム塩酸塩 2g (2×) 投与(3日間)。
				投与4日後	セフォチアム塩酸塩 1g, メロペネム水和物 0.5g 投与。
				投与5日後	メロペネム水和物 1g (2×) 投与。
				投与6日後	メロペネム水和物 2.5g (5×) 投与。
				投与7日後	メロペネム水和物2g (4×), バンコマイシン塩酸塩1g (2×) 投与。
				投与8日後	バンコマイシン塩酸塩1g投与(10日間)。 TACE施行後, 感染予防のため抗生剤投与行うも炎症反応 生じ, 改善せず。
				投与13日後	腹部CTにてTACE施行部肝癌内にair density出現。 肝膿瘍(多発)発現。抗生剤投与継続も改善せず。
				投与17日後	膿瘍ドレナージ施行。
				投与19日後	バンコマイシン塩酸塩 1g 投与(6日間)。
				投与21日後	クリンダマイシン 600mg 投与。
				投与22日後	クリンダマイシン 1800mg (3×) 投与(5日間)。
				投与25日後	バンコマイシン塩酸塩 0.75g 投与(3日間)。
				投与26日後	ゲンタマイシン硫酸塩 20mg (div), 180mg (div) 投与。
				投与27日後	クリンダマイシン1200mg (2×) 投与, イトラコナゾール 20mL 投与(8日間)
				投与28日後	膿瘍ドレナージ施行。 経過中, 最大CRP 17.6mg/dL まで上昇。
				投与32日後	メロペネム水和物 0.5g, リネゾリド 600mg 投与。
				投与33日後	メロペネム水和物1.5g (3×) (17日間), リネゾリド 1200mg (2×) (4日間) 投与。
投与36日後	ゲンタマイシン硫酸塩 10mg 膿瘍に注入(3日間)。				
投与38日後	リネゾリド 1200mg (2×) 投与(12日間)。				
投与40日後	イトラコナゾール 20mL 投与(10日間)。				
投与50日後	メロペネム水和物1g (2×) (2日間), リネゾリド600mg 投与。				
投与51日後	リネゾリド 1200mg (2×) 投与(28日間)。				
投与52日後	メロペネム水和物 1.5g (3×) 投与(27日間)。				
投与62日後	CRP 3.6mg/dL まで低下。				
投与71日後	外泊より帰院後, 誤嚥性肺炎発症。				
投与79日後	呼吸不全進行し, 死亡。				
併用薬: ゼラチン, エピルピシン塩酸塩, マイトマイシンC, ヨード化ケシ油脂脂肪酸エチルエステル, ラ モセトロン塩酸塩, ペンタゾシン, アルプロスタジル, イオヘキソール					

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
2	男 70代	肝細胞癌 [ StageIVA ] ( C型肝炎, 肝硬変 )	60mg 1日間	<b>胆汁性嚢胞, 肝膿瘍</b>	
				肝右葉に10~20mm大の腫瘍濃染多発。Vp1。S2に45mm大の腫瘍濃染存在。	
				投与開始日	左肝動脈より本剤30mg及びヨード化ケシ油脂肪酸エチルエステルを動注し,ゼラチンにて塞栓を施行。 右肝動脈後区域枝優位に本剤30mg及びヨード化ケシ油脂肪酸エチルエステルを注入。
				投与9日後	CRP 10.03mg/dLと高値。経過観察。
				投与14日後	CRP 5.6mg/dL。
				投与17日後	一旦退院。
				投与19日後	発熱が出現し,画像にて右葉,尾状葉に胆汁性嚢胞出現を認めた。 CRP 8.37mg/dLと再上昇。WBC 10200/μL。
				投与26日後	両葉に胆汁性嚢胞増大。肝膿瘍発現。
				投与28日後	レボフロキサシン水和物600mg/日 内服(4日間)にて治療するもコントロールできず。
				投与31日後	入院。CTで肝膿瘍増大確認。スルバクタムナトリウム・セフォペラゾンナトリウム 4g/日投与(19日間)。
投与51日後	炎症反応わずかに改善し,退院。				
投与79日後	CRP 7.78mg/dL。胆汁性嚢胞,肝膿瘍未回復。				
投与約7ヵ月後	胆汁性嚢胞,肝膿瘍未回復のまま,原疾患にて死亡。				
併用薬:ヨード化ケシ油脂肪酸エチルエステル,ゼラチン					